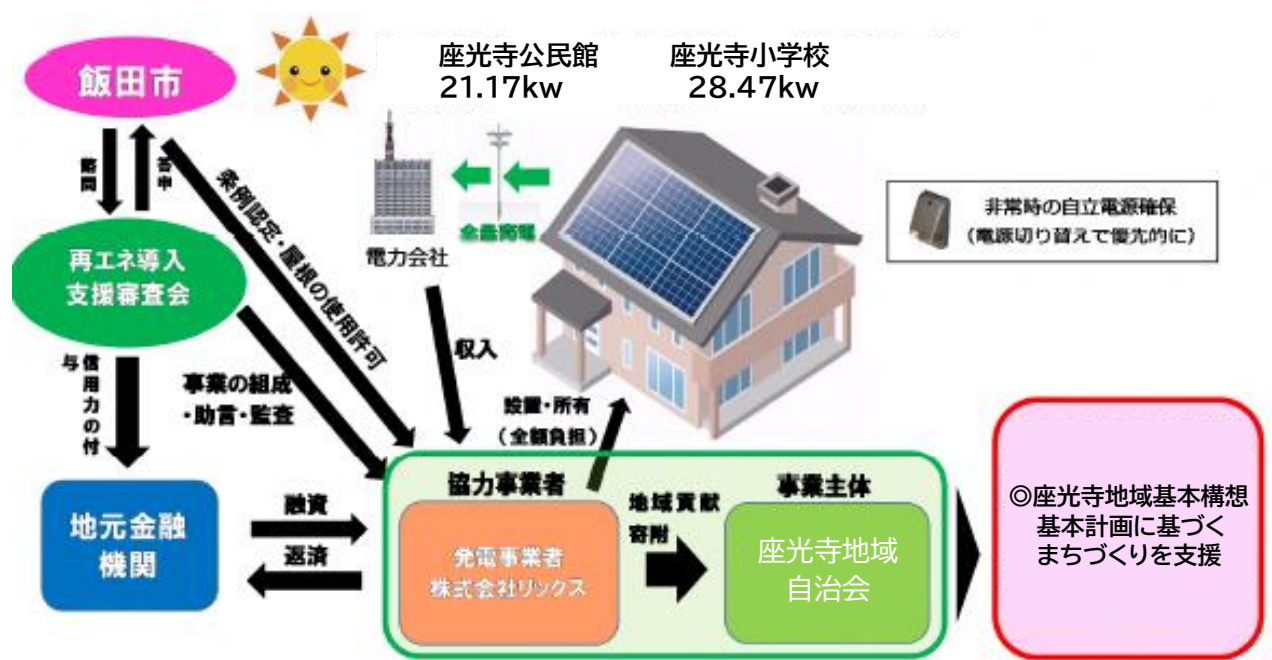


座光寺地区公共施設太陽光発電再生可能エネルギー活用事業 概要

1 事業概要

- (1) 事業主体 飯田市座光寺 2535 番地／座光寺地域自治会 会長 牧野光彰
- (2) 協力事業者 飯田市三日市場 1466 番地 1／株式会社リックス 代表取締役 熊谷弘
- (3) 事業実施個所・名称 飯田市座光寺 2535 番地／飯田市座光寺公民館
飯田市座光寺 1717 番地 3／飯田市立座光寺小学校
- (4) 再エネ設備概要 座光寺公民館／太陽光発電／設備容量 21.17kW／年間発電量：20,600kWh/年
座光寺小学校／太陽光発電／設備容量 28.47kW／年間発電量 26,086kWh/年

2 事業スキーム



3 地域貢献寄附金の使途

リニア時代を見据え、自然・歴史・文化等の地域資源を活かした地域振興に取り組みます。

- (1) 2つの国史跡「恒川官衙遺跡」「高岡第1号古墳」等を中心としたエリアを「2000年浪漫の郷」と称し、その保存・管理と活用に取り組みます。
- (2) 地域の情報発信と他地域との交流に取り組みます。

4 その他 想定される効果

- (1) 歴史・文化資源の保存・管理と活用に係る多様な取組につながり、地域の持続的な発展に役立つことが期待される。
- (2) 既存団体との連携強化や新たな地区内プレイヤーの育成支援が進み、多様な主体による地域活性化プロジェクトの推進が期待される。
- (3) 関係人口の増加・定住の促進が進むとともに、地区の自治機能が高まることで、多様な人が住みたいと思えるまちの形成とその担い手の育成の一助となることが期待される。
- (4) 自立電源の確保により、地区内の防災拠点機能が向上し、住民の安全安心の確保の一助が期待できる。
- (5) 地域住民や小学生らに自然エネルギーに対する学習機会の提供と環境意識の向上が期待される。